

群馬大学とのコラボで取り組んでいる

新しい樹木活用技術(可搬式緑化技術)の開発

公共建設部会では、平成26年から群馬大学理工学部や東京都農林総合研究センターとともに、夏季屋外の暑熱対策のための新しい樹木の活用方法である「可搬式緑化技術」の開発に協力してきました。これは、移動可能な大型のポッドの中に、樹木を植え付けて心地よい木陰をつくることのできる技術です。さらにミストを組み合わせることで、涼しい空間が形成できます。大型ポッドには、木製のベンチも取り付けられており、公園や駐車場などにも簡単に小さな森をつくり出すことができます。

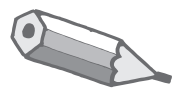


公共建設部会では、実際にこの樹木ポッドを所有して、さまざまな実証試験にも協力しております。また、この技術に関する樹木の選定や植え付けノウハウなどを中心に、普及のための活動も積極的に進めてい

るところです。この技術は2020年に開催が予定されている東京オリンピック・パラリンピックへの活用が期待されているもので、今後もその普及が期待できます。



編集後記



平成最後の年がスタートしました。昭和から平成に変わった1989年は、今と異なった業種の仕事に就いており、元号が変わったことによって業務上とても多忙になり混乱した日々を過ごした記憶があります。2度目の改元経験となる本年、31年前の若き自分と重ねつつ新しい元号をむかえたいと思います。

群馬県造園緑化協会は設立35周年を迎え節目の年となります。記念企画のフォトコンテストもスタートします。この先、永く親しまれるような企画になる事を望んでおります。そして、会員の皆様にとっても心に残る良い一年になりますことを願います。

白井宿

渋川市白井



「白井堰」を挟んで2本の通りが交通を担う。堰には何本もの橋がかかる。両側合わせて約100本の八重桜が枝を広げるほか、モミジなど数種類の木も植樹されている。

白井城下で栄華を誇った宿場町

室町時代に、長尾景仲によって白井城が築城された。その城下で、白井宿は宿場として栄えた。約1キロにおよぶ街道の中央には、「白井堰」と呼ばれる水路が掘られている。

4月下旬の日曜日には「白井宿八重ざくら祭り」が行われる。祭りでは、戦国武将などの衣装を身にまとった「武者行列」や、農産物や特産品を販売する「六斎市」、「彌酔(やよい)の句会」と呼ばれる俳句大会も開催される。「道の駅こもち」の裏に位置することも幸いし、近隣の市町村は言うまでもなく、県外などの遠方からも大勢の観光客が訪れて賑わう。

市場町としても隆盛を誇り、往時には取り扱った商品も多岐にわたった。馬草、薪、材木などをはじめ、麻や繭糸、木綿や真綿、煙草、塩、茶、水油、米や麦などのほか、「ひな市」など時季のものにまでおよび、商圏は3郡24村であったという。元禄13(1700)年時点で造り酒屋が5軒あった。

経済の発展に連れ、大通りに面して家並みが整備されていった。他村の人が「宿」と呼んだほど栄えたが、江戸中期、文久2年、明治31年と、3回にわたる大火によって、多くの家並みや武者返しの遺構が消失してしまった。現在残っている土蔵造りの建物は2軒だけである。



きれいに整備された「白井堰」。ところどころに洗い場(写真右)が設けられている。4月後半には八重桜のトンネルに覆われる。



「上之町の井戸」は明治2(1869)年頃、水不足解消を目的として掘られた。現在でも使用されている。こういった井戸がいくつも存在する。



井戸の一つが完成するとき、井戸の底に、虎にまたがる薬師如来像が見えた。その吉兆と井戸の完成を祝い、この薬師堂を建てたと伝えられている。



「白井宿歴史民俗資料館」は、商家であった旧和泉屋の建物を利用している。資料館自体が歴史的価値を持つ。



一般社団法人 群馬県造園緑化協会
会長 武藤 敏彦



群馬県知事
大澤 正明

新年のごあいさつ

あけましておめでとうございます。
皆様方におかれましては、健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

本年も関係各位のご指導をいただきながら事業推進に邁進してまいりますので、ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

さて、昨年を振り返りまして地震・豪雨・台風・猛暑といった異常気象が猛威をふるった一年となってしまいました。7月の西日本豪雨では数日間の記録的大雨により、多くの地域で河川の氾濫や浸水害、土砂災害と甚大な被害が発生しひどい爪あとを残しました。大型台風の襲来でおきた関西空港の完水被害や大阪府北部を震源とした地震の被害も大きいものでした。そして、北海道胆振東部で発生した地震では広範囲にわたり山々の斜面が崩れおちており、前日まで緑に包まれていた景色が一変する被害となりました。それら各地でおきました災害により被災された方々に謹んでお見舞いを申し上げます。

次々におきます自然災害は規模を増している状況でございますが、重要な備えといたしまして、今年もひきつづき群馬県では防災対策の一環とし、私たち造園団体と防災協定を結び体制を整えおきます。そして、より一層の安全管理・事故防止の徹底はもちろんのこと、会員の皆様方の職人としての更なる技術向上に取り組み、皆様方が安心できる環境づくりにつとめてまいります。

結びに、関係各位並びに会員の皆様の益々の繁栄とご健勝をお祈り申し上げまして新年の挨拶とさせていただきます。

明けましておめでとうございます。
皆様には、すがすがしい新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

昨年は新年早々に、前橋育英高校が全国高等学校サッカー選手権大会で初優勝を成し遂げ、県民に大きな夢と感動を与えてくれました。

産業の分野では、30年上期の工場立地件数・面積において、いずれも群馬県が全国1位となりました。件数・面積が共に1位となったのは初めてであり、本県の交通環境の優位性や拠点性の高さが総合的に評価されたものと、大変うれしく思っております。

さて、今年には県政の羅針盤である「第15次総合計画」の最終年度を迎えます。総合計画の三つの基本目標である「人づくり」、「安全・安心な暮らしづくり」、「産業活力の向上と社会基盤づくり」の実現に向け、全庁一丸となって取り組んでまいります。

特に、森林・林業の分野においては、本年は「新たな森林管理制度」の導入や「林業県ぐんま木材振興条例」の施行など、大きな転換期を迎えます。二期目を迎える「ぐんま緑の県民税」とともにこれらの制度を適切に活用し、森林資源の適切な管理と森林資源の循環利用による林業の成長産業化を進め、「林業県ぐんま」を実現してまいりたいと考えております。

また、県の緑化推進の拠点である「緑化センター」につきましても、憩いと緑に関する様々な活動の場として、緑化意識の啓発や緑化技術の普及などに努めてまいりますので、引き続き、皆様の御理解と御協力をお願い申し上げます。

結びに、この一年が造園緑化協会の皆様にとって健康で幸多い年になりますよう心から祈念申し上げ、新年の挨拶といたします。

平成31年1月1日



●とき／平成30年10月18日(木)
●ところ／前橋高等職業訓練校

平成30年10月18日(木)に前橋高等職業訓練校におきまして、安全衛生大会が開催されました。司会の福田専務理事による開会のことばで大会スタートとなり、武藤会長の挨拶に引き続き表彰式が行われ本年度はみどり支部の橋場造園さんが表彰されました。

安全講話では前橋労働基準監督署より署長の永田卓也氏をお招きし「第13次労働災害防止計画について」と題し労働災害発生状況等わかりやすい資料をもとに講話くださいました。また、平成31年2月1日施行の建設業等の高所作業において使用される「安全帯」の改正について

お知らせくださいました。

その後、休憩をはさみ機材準備ののち日本赤十字社群馬県支部より2名の派遣指導員をお迎えし「AEDと心肺蘇生法」について実技を交えての講習を受けました。ほとんどの参加者が一度は同じような講習を受けているようでしたが、いづれどこで身近に起こりうることも限らない場面にそなえ、全員が終始真剣に楽しく実演しておりました。講習後には受講の証として修了証を武藤会長が代表で受け取り、最後に須永副会長より謝辞が述べられ、原田副会長の閉会のことばをもって無事に大会終了となりました。



武藤会長挨拶



安全講話



修了証の授与



表彰式 みどり支部 橋場造園



AEDと心肺蘇生法を学ぶ

優秀技能者 当協会員2名表彰!

●とき／平成30年11月27日(火)午後2時 ●ところ／群馬県JAビル 大ホール



壇上では、主催者である群馬県知事(代理)、群馬県職業能力開発協会長、一般社団法人群馬県技能士会連合会会長が挨拶し、続いて来賓の群馬県議会議長が主事を述べた。

は作業の改善及び生産性の向上に貢献した者であること。

6 勤務実績・日常行為等において、他の模範と認められる者であること。

という条件を満たさなければなりません。ちなみに、大会開催要綱には、趣旨の説明として「県内の職業訓練校及び技能検定、技能振興等職業能力開発に関する功労者や優れた技能者等を表彰、紹介することにより職業能力の開発・向上に資することを目的に開催します」と記述されています。

木村さんも樋下田さんも、祖父の代から始まった家業を受け継ぐ三代目。ともに、造園の仕事に興味を抱

き、自らの意志で家業を継ぎました。

木村さんは造園一級技能士と職業訓練指導員の資格を持ち、垣根を得意分野としています。今回の表彰もこの分野での功績が認められたものです。プラスチックなどの化学的素材ではなく、本物の竹と丸太を使う、わが国伝統の垣根づくりを踏襲しています。

樋下田さんは造園一級技能士資格を持ち、大きな木の移植を数多く手がけています。大きな木ほど、移植作業中に過って樹皮を剥いてしまう危険性が高まりますが、樋下田さんは特種な器具を駆使し、豊富な経験と知識によって安全に移植する高い技術を持っています。県外など遠方の仕事もしばしば行っています。

これはなかなかもらえるものではなく、推薦されて本当に嬉しく思います。「誰でも簡単にもらえるものではないので、もしもらえなくてもがっかりしないでください」とまで言われました(笑)。
今後については、これを励みに、こういうこともあるんだということ、後進を指導していきたいと思っています。



木村重太郎さん(有限会社キムケン)



樋下田俊明さん(樋下田造園)

賞をもらえることになって本当に嬉しかったです。これからも、この受賞に恥じないように、一生懸命、毎日努力して仕事に励んでいくつもりです。
若手の人たちの指導はもちろんしていきますが、若い人はもっと積極的に、技術を盗むというくらいの意欲をもってもらいたいですね。

この日は天候に恵まれ、戸外では汗ばむほどの秋晴れとなりました。その青空を突き上げるようにそびえるJAのビルで、「群馬県優秀技能者(ぐんまの名工)」39名をはじめ、「群馬県若年優秀技能者(ぐんま明日の名工)」9名など、全部で20の表彰(385の個人または団体)が行われました。

この表彰対象は、候補として推薦されるだけでも条件が厳しく、実際に表彰されるとなると非常に壁が高い、いわば「難関」です。

この表彰の価値は記事の根幹をなす部分ですので、スペースを取って条件をすべてあげてみます。

- 1 表彰に係る技能について、1級または単一等級の技能検定に合格し、合格後その技能を要する職業に5年以上従事する41歳以上の者又はこれと同等以上の優れた技能を有すると知事が特に認める者であること。
- 2 表彰に係る技能について、県内業界において第一人者と目されていること。
- 3 表彰に係る技能について、現役性があること。
- 4 県内に居住している者又は就業している者であること。
- 5 技能を通じ、後進技術者の育成に尽くした者また

緑化協会フォトコンテスト の写真をご応募ください

- 造園作品を撮影した写真
- 過去に撮影した写真もOKです
(製作時期は問いません)
- 1人につき多数の応募も受け付けいたします

設立35周年を記念しスタートとなります
多数の応募をお待ちしております

応募方法

写真の裏面に事業所名と氏名を記入し、支部長もしくは事務局へ提出ください。



年次有給休暇の計画的付与と取得義務化について

みくに労務管理事務所

会社側があらかじめ年次有給休暇を取得する日を指定して与える制度として「年次有給休暇の計画的付与制度」があります。年次有給休暇のうち5日を超える分については、会社が計画的に付与することができる制度です。

年次有給休暇のうち5日は従業員が自由に取得できる日数として必ず残しておかなければなりません。例えば、年次有給休暇の付与日数が10日の従業員は5日、20日の従業員は15日までを会社が計画付与の対象とすることができます。

計画付与の方法としては、

- ①企業・事業所全体の休業による一斉付与方式
- ②班・グループ別の交替制付与方式
- ③計画表による個人計画付与方式

があります。業務の比較的閑散な時期に計画的に与える方法、飛び石連休の間の日や、夏期・年末年始休暇と合わせて付与し大型連休にする方法、個人付与方式では従業員や家族の誕生日、記念日を休暇とするアンバーサリー休暇制度とするなど様々な方法で活用されています。

この制度を導入するには、就業規則に規定し、労働者の過半数で組織する労働組合または労働者の過半数を代表する者との間で、書面による協定を締結する必要があります。



また、平成31年4月1日より年次有給休暇の取得義務化が始まります。

会社は、基準日（年次有給休暇が発生する日）に年10日以上有給休暇が与えられている従業員に対して、5日取得させることが労働基準法上の義務となります。本人の希望を聞いた上で、5日取得させる日を会社が時季指定し、休ませなければいけません。ただし、従業員が自主的に5日以上取得する場合や、前述の計画付与制度で5日以上付与される場合は、会社は指定を行う必要はありません。また、5日に足りない場合は、足りない日数のみ会社が指定を行う必要があります。

法定どおり入社半年後から年次有給休暇を与えている場合は、4月1日入社の場合基準日は10月1日、10月1日入社の場合基準日は4月1日となるため、入社日の異なる従業員が働いていると、複数の基準日が発生することになります。

まずは改正に向けて、各従業員の基準日や年次有給休暇の取得状況を把握し、計画付与制度を活用するなど、どのような方法で管理運用していくか検討する必要があります。



エッセー 木々美好日 32

ロウバイの花は 蠟のような美しさ

新木としろう (グラフィックデザイナー)

春から秋にかけて咲き誇っていた花々も、冬に入ると見かける機会がめっきり少なくなる。花ばかりか、木々は葉も落とすから、公園も街路も、家庭の庭も殺風景になってしまう。

そんな寂しい時季に、ロウバイは明るく暖かみのある花を、しかも大量に咲かせ、冷たい冬の空間に貴重な彩りを添えてくれる。

ロウバイは中国原産の落葉低木で、その出自から唐梅（からうめ）とも呼ばれる。中国ではウメ、スイセン、ツバキとともに「雪中の四花」と称され、親しまれている。早咲きのものでは12月に入ると咲き始め、遅いものでも2月には開花のピークとなる。

日本へ渡来した江戸時代初期以降、ほかの花木より早く咲き、しかも花の香りが芳しいことから徐々に親しまれるようになり、生け花をはじめ、茶花や庭木などとして各地へ広まっていった。

漢字表記は一般的な「臘梅」のほか、「蠟梅」「臘梅」などがある。名の由来は、多くのかたがお察しであろうが、花びらの見た目が蠟（ろう）でできているかのように見えるからだ。また、旧暦12月を臘月（ろうげつ）というが、この臘月のころに花が咲くことも由来の一つとされている。



透明感のある花びらは見るからにロウでできているかのようだ。



主な品種としては「ソシンロウバイ（素心 蠟梅）」「マンゲツロウバイ（満月 蠟梅）」「フクジュロウバイ（福寿 蠟梅）」などがある。主流となっているのはソシンロウバイで、単にロウバイということとこれをさす場合が多い。

ソシンロウバイは花びらも花芯も同じ黄色だが、このことから「素心（混じりけのない純粋な）」と名づけられたようだ。マンゲツロウバイは、花の中心にある円形の赤褐色が満月のように見えることが由来。フクジュロウバイは、花の色が文字通り福寿草のような明るい黄色をした花で、花の芯はレンコンを輪切りにしたような形をしている。どの品種も果実は痩せて小さい。花床が発達した壺状の偽果に、数個から十数個見られる。

なお、俳諧では晩冬（小寒から立春の前日までの間）の季語となっている。

花やつぼみからは「蠟梅油（ろうばいゆ）」と呼ばれる植物油が採れるが、これは食用ではなく、薬として使用する。

基本的にタフな部類に入る木で、栽培は比較的容易だ。土質をあまり選ばず、日当たりが少しくらいよくなくても育つ。

繁殖には挿し木を用いるのが一般的だが、種での苗木起こしも難しくなく、実生からの育成も行われる。冬の庭先が寂しいと思っている方は、蠟のような花を観賞する計画を立ててはいかがだろうか。